

先端研究基盤共用促進事業（コアファシリティ構築支援プログラム）

中間評価結果

機関名	名古屋市立大学
事業概要	医療・生命科学系基礎研究での強みを活かし、臨床研究において臨床データから想起される基礎医学的研究との連携を積極的に支援できる体制を構築する。臨床研究者が効果的に先端基礎科学解析を行えるよう、臨床研究・基礎研究両方を理解し積極的に研究企画にまで介入できる技術職員（リエゾン技術者）を養成しデータ解析受託・コンサルティング技術を醸成する。併せて、遠隔・自動化（研究 DX）を推進し、臨床研究関連機器について優先的に整備・更新することで連携病院の臨床解析もサポートする。取組をコアファシリティの 1 つのモデルとして、学外の医療機関や他大学、研究機関に対して展開していく。
評定（総合評価）	コメント
A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理事長、学長の直下組織である統括部局を再編成し、継続的な運営体制を確立し、介入型研究支援を目指す体制が、本事業の資金活用を契機に将来的に自己採算する戦略で運営されている点が高く評価できる。受託解析事業の立ち上げに期待する。 ・ 共用機器センターを設置し、学内に分散していたリソースを統合することに成功している。本事業で生み出した機能をベースにより積極的な外部連携や国際化等の展開に期待したい。 ・ 概ね目標通りの進展がある。人材育成の取組はよく計画されている。医学系大学ならではの共用モデルの構築を今後も期待する。
評定（個別評価）	
① 進捗状況	コメント
a	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前倒しで学長直轄組織である共用機器センターを設置、人材育成プログラム、装置管理予約システム等が順調に導入されるなど、着実な事業進捗が見られる。 ・ 臨床研究と研究基盤を繋ぐ介入型研究支援モデルの確立に向けてリエゾン技術者が適切に活躍できる体制が確立しつつある。 ・ 学外利用が少ない印象であり、民間企業等の利用に繋がるイノベーション創出の取組や、国際連携の飛躍的増加が期待される。
② 経営戦略	コメント
a	<ul style="list-style-type: none"> ・ 臨床サンプルを使用した研究に向けてリエゾン技術者の育成に取り組み、将来的に受託解析利用の事業化を目指し、共用センターの大幅人員増などの戦略的計画が推進されている点は高く評価できる。 ・ リエゾン技術者が本事業の肝となっているため、事業終了後の着実な収入計画と雇用継続が求められる。 ・ 研究設備・機器群の整備・運用・共用に係る方針の位置づけられているか不明確であった。

③ 実施体制・仕組み	コメント
a	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長、学長の直下組織である統括部局を再編成し、継続的な運営体制が確立している。 ・窓口が一本化され、利便性の高そうなWEBサイトが完成し運用されている。 ・共用機器センターを中心に、事業が実施されている。令和6年度以降メンバーが増員され、組織強化を図るとのことで、更なる進展を期待したい。
④ 人材育成	コメント
a	<ul style="list-style-type: none"> ・リエゾン人材育成プログラムを策定に、トレーニングを行うとともに、学内教員とも連携したOJT、メーカーを巻き込んだ技術支援体制などができている。 ・スキルアップのための取組は積極的に進められているが、マネジメント人材を視野に入れたキャリア形成など今後の充実が期待される。 ・他のコアファシリティ実施機関等との具体的な連携が期待される。
⑤ 資金計画	コメント
a	<ul style="list-style-type: none"> ・受託解析収入が順調に伸びるとともに、十分な自己財源を注入する計画が立てられている。 ・受託解析事業の立ち上げと資金計画の更なる具体化が望まれる。 ・今後の収入増に向けて、民間企業等の外部機関との積極的な連携に取り組むことを期待する。
⑥ その他の政策との連携	コメント
a	<ul style="list-style-type: none"> ・4つの国の研究推進プロジェクトとの連携、独自の学内助成金制度による若手・女性研究者への研究支援など、順調に進んでいる。 ・分野融合や更なる領域拡大等の研究開発活動活性化によるイノベーション創出を目指し、オールジャパン体制を将来的に確立することが期待される。
⑦ 外部連携、国際化	コメント
b	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣大学との包括的連携協定内で機器共用化を進めている。近隣大学との交流会で他機関への展開を促進しており、これらの成果が期待される。ただし、従来の取組が多いように見受けられ、本事業をベースにより積極的な展開がなされることが望まれる。 ・機器管理予約システムの機器一覧ページの機器名・機器概要について英語版を準備している点は評価できる。 ・国際競争力が向上するような、より積極的な国内に閉じない取組に期待したい。
備考	なし